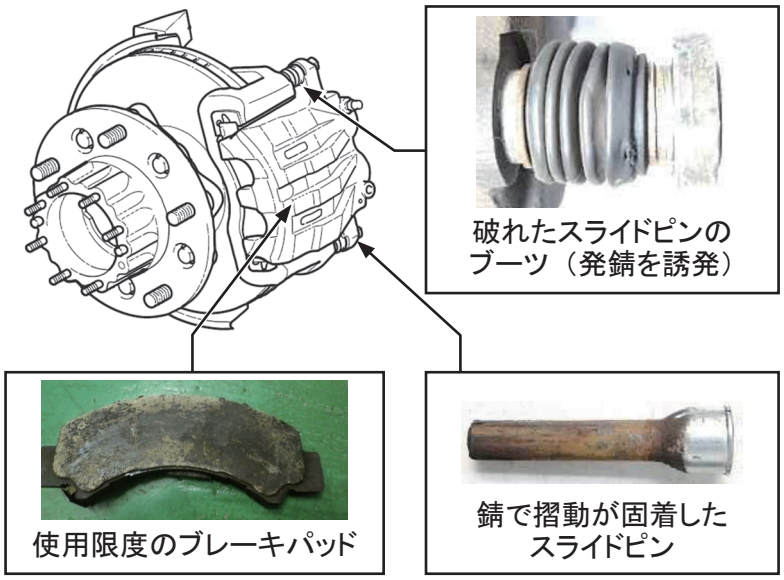
テクニカル・メッセージ

小型トラック ブレーキキャリパ・パッドの確実な定期点検整備について

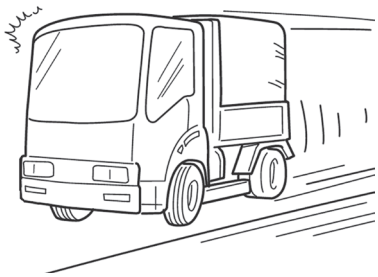
ブレーキキャリパのスライドピンが錆びて摺動が悪くなったまま使用を続けると異音の発生やブレーキパッドに不均一な摩耗が生じます。また、ディスクブレーキパッドの限度を超えて使用し続けると、最悪の場合、ブレーキパッドがキャリパから脱落する可能性があります。
お車を安全に使用していただくためにも、定期点検整備時にはブレーキキャリパ機能確認及びブレーキパッド点検を確実に実施していただき、使用限度を超えている部品は早めに交換してください。

■ 対象車両

小型トラック（ディスクブレーキ搭載車）



左写真の状態で使用し続けると



異音の発生や最悪の場合、
ブレーキパッドの脱落を招き、
ブレーキの制動力に影響を与えるおそれがあります。

■ 定期点検時期と点検項目について

ブレーキパッド、ブレーキキャリパの点検は下記の通り法令で定められております。
確実な定期点検整備を実施してください。

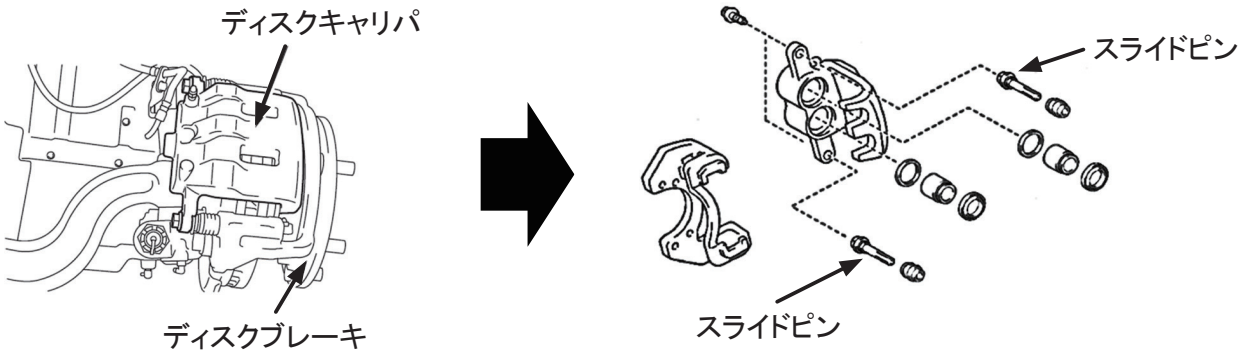
点検位置	点検項目	点検整備時期							
		日常点検（運行前）	新車時		事業用自動車等			自家用貨物自動車等	
			1,000km	5,000km	1ヶ月毎	3ヶ月毎	12ヶ月毎	6ヶ月毎	12ヶ月毎
ブレーキディスク及びパッド	ディスクとパッドとの隙間（引き摺り確認）	–	–	–	◇	◆	◆	◇	●
	パッドの摩耗	–	–	–	◇	◆	◆	◇	●
	ディスクの摩耗及び損傷	–	–	–	–	–	●	–	●
マスタ・シリンダ、ホイールシリンダ及びディスクキャリパ	機能、摩耗及び損傷	–	–	–	–	–	●	–	●

●／◆：法律で定められた時期、距離　　◇：日野自動車が推奨する時期、距離

※詳細はメンテナンスノートを参照ください。

■ ブレーキキャリパ（スライドピン）の機能点検について

スライドピンがスムーズに動くかを点検する。ブレーキキャリパの摺動が悪い場合は、スライドピンの異常な摩耗、損傷、腐食、亀裂及び固着がないかを点検し、上記の異常が見られた場合は、ブレーキキャリパASSYの交換をお願いします。
また、異常がない場合は、ブレーキキャリパの清掃・スライドピンへのグリス塗布を行い、再度、摺動の確認をしてください。



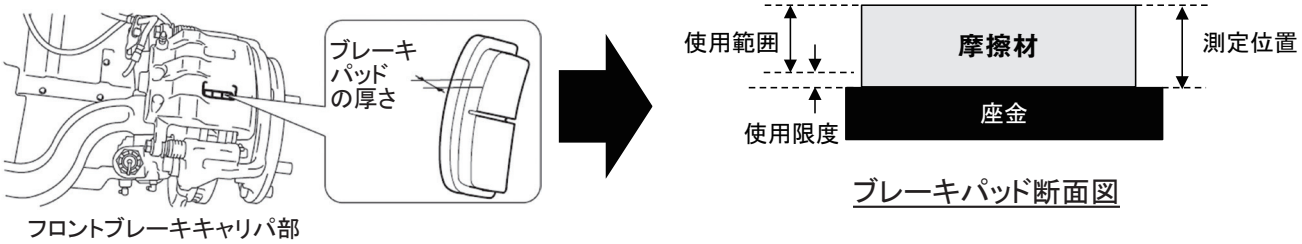
注 意

グリス塗布量が過多になると引き摺り（早期摩耗）の原因になりますので、塗布後にも摺動確認を確実に実施いただくようお願い致します。

■ ブレーキパッドの摩耗点検について

リフトアップなどの状態でホイールを外し、ディスクブレーキのキャリパ部からブレーキパッド部をのぞいてパッドの厚さをスケールなどで点検してください。また、ブレーキパッドは2枚で1組となっておりますので、必ず両側のブレーキパッドの厚さを点検してください。

＜代表例＞



フロントブレーキキャリパ部

ブレーキパッド断面図

エンジン	駆動方式	仕様	フロント		リヤ	
			新品時	使用限度（残量）	新品時	使用限度（残量）
ガソリン、LPG	2WD	―	14.0 mm	3.0 mm	14.0 mm	1.0 mm
ディーゼル	4WD	―				
	2WD	リヤシングルタイヤ				
	2WD	ホイール固定ボルト（5 本）				
	2WD	ホイール固定ボルト（6 本）	13.0 mm	1.0 mm	13.0 mm	1.0 mm
	2WD	車両総重量 5t 未満車（普通免許対応車）	12.0 mm	1.0 mm	12.0 mm	1.0 mm

表 . ブレーキパッド使用限度

お 願 い

点検時に**使用限度以上残っていた場合でも、**使用状況により、次回点検までに残量が限度以下になることがあります。**早めに交換してください。**